

日本通信、米国 CBRS に向けた取り組みに関するお知らせ

日本通信株式会社（以下、「当社」という）は、米国の周波数共用方式 CBRS (Citizens Broadband Radio Service : 市民ブロードバンド無線サービス) への取り組みを進めています。CBRS では、周波数共用の仕組みとして SAS (Spectrum Access System: 周波数アクセスシステム) を使いますが、この度、当社は、SAS のパイオニアである Federated Wireless 社が提供する SAS を使うことを決定いたしました。

Federated Wireless 社は、CBRS に関する FCC (連邦通信委員会) による公示があり次第、初期商用展開を開始する事業者の 1 社です。Federated Wireless 社より、SAS を用いた 3.5GHz CBRS ネットワークの初期商用展開に関する発表がありましたので、あわせてお知らせいたします。

Federated Wireless 社の発表の中で、当社の執行役員であり当社米国子会社 JCI US Inc. のプレジデントであるグレッグ・ダイクマンは次のように語っています。

「JCI US (Contour Networks) ※1 は、大規模な小売店およびエンタープライズ環境でのプライベート LTE の初期商用展開で Federated Wireless 社と協力できることを大変光栄に思います。Contour の USIM (Universal SIM) 、CBRS プラットフォーム、システム統合およびセキュリティの専門知識を取り入れることで当社は、まずは、AI (人工知能) ベースのビデオ分析、決済システムおよび環境制御のために CBRS を活用することに注力します。」

(ご参考) Federated Wireless 社のニュースリリースは、以下をご参照ください。

SEPTEMBER 10, 2019

Federated Wireless Announces Industry-first 3.5 GHz CBRS Network to Support Initial Commercial Deployments of Shared Spectrum Services

<https://federatedwireless.com/federated-wireless-announces-industry-first-3-5-ghz-cbrs-network-to-support-initial-commercial-deployments-of-shared-spectrum-services/>

※1 当社の 100%子会社で、Contour Networks は、当社の米国におけるサービスブランドです。